



方面へ、トンネルを抜け 少し走ると右手に奥出雲 できる。

日帰り入浴をすることが できる。洗場には四角な

湯村温泉の案内が見えて

建物は新しく、杉や檜

木製の溜井が3カ所にあ

る。

湯村温泉は、出雲風土

記に「薬湯があり須佐之 空間にになっている。浴槽

男尊が櫛名田姫と草庵を 爽やかな、気持ちのいい

結んだ」とされており、 天井は高く、檜丸太で組 でできており木の香りが

南画の田能村直入をはじめ ポドボとかけ流しにされ

まれており開放感があ ている。それを手桶にす

尊も入った温泉 尾道・松江道の雲南吉

田ICで降り、吉田町を抜け広域地方道を山越えし国道314号線に出る。斐伊川にそって木次

湯村温泉は、出雲風土 空間にになっている。浴槽

記に「薬湯があり須佐之 爽やかな、気持ちのいい

男尊が櫛名田姫と草庵を 結んだ」とされており、 天井は高く、檜丸太で組

南画の田能村直入をはじめ ポドボとかけ流しにされ

まれており開放感があ ている。それを手桶にす

尊も入った温泉 尾道・松江道の雲南吉

田ICで降り、吉田町を抜け広域地方道を山越えし国道314号線に出る。斐伊川にそって木次

本物の温泉紀行 ⑥

(株)広島建築住宅センター 常務 山口邦良

の舌震」、松本清張の「砂の器」の亀嵩、船通

の舌震」、松本清張の「砂の器」の亀嵩、船通

め多くの文人墨客が訪れる。露天風呂は眼下に斐伊川のとうとうとした流れを眺めることができ、

て風情を楽しんだと言わ

る。露天風呂は眼下に斐伊川のとうとうとした流れを眺めることができ、

て風情を楽しんだと言わ

る。露天風呂は眼下に斐伊川のとうとうとした流れを眺めることができ、

て風情を楽しんだと言わ

る。露天風呂は眼下に斐伊川のとうとうとした流れを眺めことができ、

て風情を楽しんだと言わ

る。露天風呂は眼下に斐伊川のとうとうとした流れを眺めことができ、

て風情を楽しんだと言わ

る。露天風呂は眼下に斐伊川のとうとうとした流れを眺めことができ、

て風情を楽しんだと言わ

る。露天風呂は眼下に斐伊川のとうとうとした流れを眺めことができ、

て風情を楽しんだと言わ

る。露天風呂は眼下に斐伊川のとうとうとした流れを眺めことができ、

写真提供(製作) =

Mouta in Tad



場有7台程度。

TEL 0854-48-0513

た秘湯好きに人気の宿で

ある。外湯の共同浴場が

すぐ下の川沿いにあり、

斐伊川を遡ると、「鬼

泉質は無色透明のサラ

リとしたアルカリ性単純

た秘湯好きに人気の宿で

ある。外湯の共同浴場が

すぐ下の川沿いにあり、

斐伊川を遡ると